

試行・検証等のテーマ

(3) ④ 【次世代育成の先駆的・モデル的な取組】

背景 ・ 課題

過疎地域で小学校では同級生がいなかったり、中学校も市内に一校しかなく市外へのアクセスも公共交通機関がなく、最たる僻地です。他との交流がなく、交流の場を積極的に増やしていかなければいけないという背景と課題があります。

事業の ねらい

郷土負けないこと、利他の心を育むことを目的とする。
小中学生の縦割りの偉人ジョン万次郎のように、あきらめない、強さとは自分自身にグループで自然の美しさ、素晴らしさ、恵み、脅威、を体験し言葉として表現し発言し文章にする力をつける。
ダイバーシティ & インクルージョンの取り組む。

事業内容

<実施にかかる体制>

運営・代表理事 保健衛生管理 河野綾 事務局・渉外部 竹田千景 経理 松本ゆかり

監査 森沢千佳 現場実行執行 スタッフ15名現場統括 滝沢理

連携団体 土佐清水市役所こども未来課 土佐清水市教育委員会 幡多福祉保健所

土佐清水市観光協会

いそあらし 宗呂シルバー会 清水ファイターズ 清水JFC

外部学識経験者 土佐清水市教育委員会 岡崎哲也教育長

<テーマに基づいた試行、検証等の方法>

<活動の内容>

○実施期間 1回目 7/27～7/31 2回目 8/19～8/23 3回目 1/4～1/8

○実施場所 土佐清水市内 旧中学校へちま畑 三漁港 三河川 ミカン畑 田んぼなど

○参加者属性、人数 市内小中学生 ジョン万キッズ未来会 バレーボールチーム

清水ファイターズ 清水JFC 日高村バレーボールチーム 三原村小中学生

○具体的なプログラム内容 サンゴの海を守るへちまたわし作り ビーチクリーン 昔、漁師が星から方角を探した天体観測 世代間交流方言辞典作成 釣り体験 田畑作業世代間交流



成果

○テーマに基づいた試行、検証等の評価・分析結果

次世代リーダー育成事業世界に羽ばたくジョンマンキッズの育成としてしっかりと仲間のお話を聞けること意見を述べることで、考えて自発的に行動すること、根気のいる事ですが時間をかけても大切に向き合い取り組みました。発達障害の仲間とは低学年ですぐにケンカになってしまうが上級生がうまく入って行き、スタッフは見守りに徹しました。簡単なことではありましたが、それぞれが相手の気持ちを想像して協力していくことができました。

○計画通りいった点やうまくいかなかった点（その原因も含めて）

計画通りいった点

毎年通年で事業を行っているため全体としてはスムーズに計画通りできました。

うまくいかなかった点

二回目実施の際に台風後で天気は良くなったものの川や海はまだ大荒れの状態でスケジュール変更しながら実施する日程変更する中で、意見が分かればギリギリまでバタバタしました。もう少し開催前に可否ボーダーラインをしっかりと決めておくべきでした。

○保護者や参加者から寄せられた意見

毎年参加したり、初めてだったり、発達の特性上今年も部分的な参加だったり、去年より少し多く関わったり様々でしたが、継続してほしいとのこと意見をありがたいことにたくさんいただきました。

今後の 展開

法人設立時より一番力を入れて取り組んできたのが次世代育成事業です。

微力ではございますが、今後も途絶えさせることなく郷土に誇りを持ち世のため人のために大いに貢献できる人材育成事業を展開継続していきたいと思っております。

インクルーシブ、ダイバーシティ教育につきましては、スタッフも学習、研鑽していかなければとの思いが強くスタッフ打ち合わせ会議以外にも学習時間をつくっていくことが必要である認識が一致したので学習時間を確保していきます。

参加者メインは土佐清水市内からがほとんどでしたが、もっと幅広く交流できる場として、近隣市町村教育委員会にも働きかけていく開催人数規模も大きくしていきたいです。

子供たちが大きくなり、いろんな困難が目の前に立ちあがってもこの取り組みの中で培ったことを活かして強く優しく元気に幸せな人生が送れるようになる活動が続けて行きます。